

1

【新聖歌105 栄えの冠を】

1. 栄えの冠(かむり)を 献げまつらん
かつては茨を かむりし主に
ゲッセマネの汝(なれ)を カルバリの汝を
覚えて近づかん 王なるイエスよ
2. かつては葬られ 地に降りて
よみがえる朝を 待ち給いぬ
3. 担い進み行かん 主の十字架を
苦き杯も など避(さ)くべき
4. 主に見(まみ)ゆる朝 手の傷跡
仰ぎ見て忍ばん 主のカルバリ

【御手の中で】

1
み手の中で すべては変わる賛美に
わがゆく道を 導きたまえ
あなたの み手の中で

2
み手の中で すべては変わる感謝に
わがゆく道に 表したまえ
あなたの み手の業を

【イエス あなたの名は】

イエス あなたの名は
何よりも 素晴らしい
インマヌエル 主は私と
共にいる いつまでも

【主の前にひざまづき】

主の前に ひざまづき
心から賛美ささげる
あなたはとこしえにわたしの神

5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り ヒリビ4の4~7
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り 詩篇51
3. 個人的な願いの祈り ヨハネ15の7
4. とりなしの祈り 1テモテ2の1~4/エペソ4

- ①大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ②瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ③クリスチャンが成長し、整えられ、用いられますように
= 教会員が恵まれて、礼拝・祈禱会・奉仕・献金・伝道ができますように
- ④求道者が与えられ、救われますように→受洗者
- ⑤教会近隣の方が集われますように
- ⑥若い献身者が与えられますように
- ⑦ジョイキッズとユースの働きが充実しますように
- ⑧高齢の方々のフォローが十分になされますように
- ⑨Seto Life Art Studio が用いられますように
= ウクレレ・キッズ英語・ゴスペル・モンテッソーリ教室・音楽ミサなど
- ⑩50人→100人→200人と教会が成長しますように

5. 日本と世界とエルサレムの平和を願って...

- コロナ禍からの解放・医療従事者と政治判断のため
- ウクライナとロシアのために。戦争が終わるように。

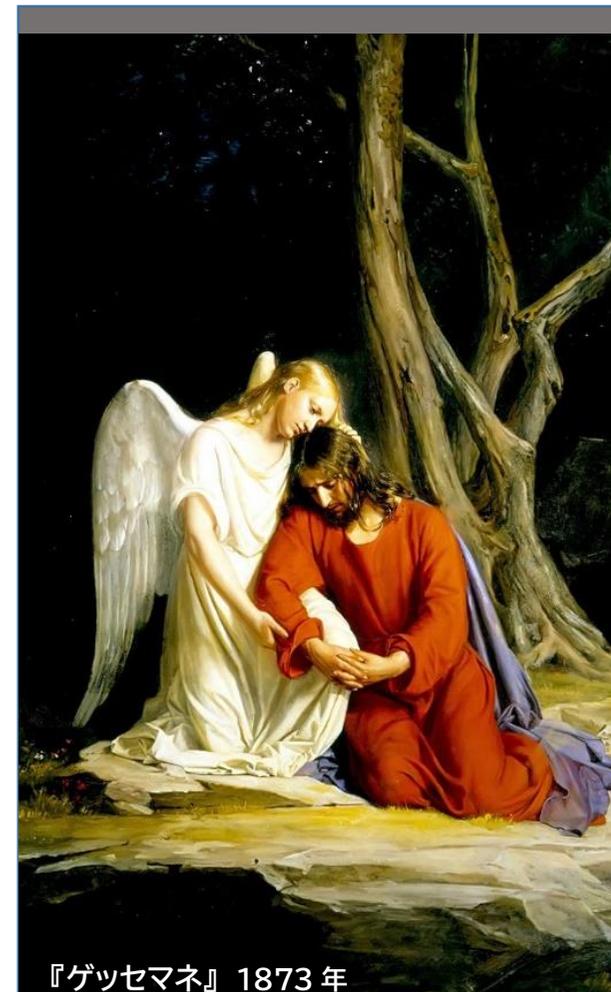
信仰宣言

- 「私の家族は全員救われます」
「日本にはリバイバルが始まっています」
「私も用いられます」
「すべての問題は解決します」
「することなすこと、みな成功します」
「私のまわりには奇跡が起こります」
「すべてのことを感謝します」
「イエス様と一緒にですから」
「ハレルヤ主よ感謝します」

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899

牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



『ゲッセマネ』 1873年
カール・ハインリッヒ・ブロッホ
Gethsemane, Carl Heinrich Bloch

祈りの小径(こみち)

Number: 106 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

2

今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

ルカによる福音書22章39～46節

22:39 イエスは出て、いつものようにオリブ山に行かれると、弟子たちも従って行った。

22:40 いつもの場所に着いてから、彼らに言われた、「誘惑に陥らないように祈りなさい」。

22:41 そしてご自分は、石を投げてとどくほど離れたところへ退き、ひざまずいて、祈って言われた、

22:42 「父よ、みこころならば、どうぞ、この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしの思いではなく、みこころが成るようにしてください」。

22:43 そのとき、御使が天からあらわれてイエスを力づけた。

22:44 イエスは苦しみもだえて、ますます切に祈られた。そして、その汗が血のしたたりのように地に落ちた。

22:45 祈を終えて立ちあがり、弟子たちのところへ行かれると、彼らが悲しみのはて寝入っているのをごらんになって

22:46 言われた、「なぜ眠っているのか。誘惑に陥らないように、起きて祈っていなさい」。

へブル人への手紙7章22～25節

7:22 このようにして、イエスは更にすぐれた契約の保証となられたのである。

7:23 かつ、死ということがあるために、務を続けることができないので、多くの人々が祭司に立てられるのである。

7:24 しかし彼は、永遠にいますかたであるので、変らない祭司の務を持ちつづけておられるのである。

7:25 そこでまた、彼は、いつも生きていて彼らのためにとりなしておられるので、彼によって神に来る人々を、いつも救うことができるのである。

3

黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

4月17日(日) イースター音楽ミサ

11時～12時
入場無料

服部沙由梨
川添由梨香
倉知契(お話)



4

みことばの解説

退き、ひざまずき、祈られたキリスト

受難週の祈禱会は特別です。ろばに乗ってエルサレムに入城されたイエス様は、最後の晚餐を前に、弟子たちの足を洗ってくださいました(ヨハネ13章・洗足式)、そしてパンを裂き、ぶどう酒を分け与え(聖餐式)、告別メッセージと祈り(ヨハネ14～17)をされたのちに、ゲッセマネの園で祈られました。そこで、ユダの口づけによって捕えられたイエス様は、不当な裁判を受け、嘲られ罵られ、平手で殴られ鞭打たれ、死の宣告を受けられます。茨の冠をかぶせられ、十字架を背負って悲しみの道・ピアドロサを通して、カルバリー(ゴルゴダ)の丘をのぼり(クレネ人シモンの登場)、釘うたれてふたりの囚人の間に、十字架に磔(はりつけ)になりました。朝の9時～午後3時まで、昼間なのに太陽が光を失い、真っ暗闇の中で最期の時を迎えられました。イエス様が十字架上で語られた7つの言葉は、この期間に黙想すべき内容です。

十字架のイエス様の7つのことば

- ①「父よ彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているかわからずにいるのです。」ルカ 23:34
- ②「よく言うておくが、あなたはきょう、わたしと一緒にパラダイスにいるであろう。」ルカ 23:43
- ③「婦人よ、ごらんなさい。これはあなたの子です」「ごらんなさい。これはあなたの母です。」ヨハネ19:26-27
- ④「エリ・エリ・レマ・サバクタニ」「わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか」マタイ 27:46
- ⑤「わたしは、かわく」ヨハネ 19:28
- ⑥「すべてが終わった」ヨハネ19:30
- ⑦「父よ、わたしの霊をみ手にゆだねます」ルカ23:46

全人類の罪を背負われたキリストの瞳には、「わたし」が映っていました。さて、「私の瞳」には、いま何が映っているのでしょうか。そう自ら問いかけるべきこの受難週を、共に過ごしてまいりましょう。